

2024年
(令和6年)

10月8日

(第三種郵便物認可)
昭和23年4月15日
毎月3回発行
(第1,第2,第3火曜日)

今号の特集

- ▷冬物調味料特集 ④~⑥面
- ▷シチュー特集 ⑦面
- ▷プレミックス特集 ⑧~⑨面
- ▷おせち特集 ⑩面

中部飲食料新聞社ホームページ

http://chuin.net/【業界情報発信中】



Kataoka 片岡物産株式会社
www.kataoka.com

第3522号

発行所
中部飲食料新聞社

名古屋市中村区名駅5-18-9
電話 (052)571-7116代表
FAX (052)571-7118

東京局

東京都中央区日本橋横山町1-4-203
電話 (03)5614-7531
FAX (03)5614-7532

中部 大正から 食を伝えて100有余年 飲食料新聞

	10月	11月	12月	1月	2月
経選準コース応募期間					
レシート応募コース応募期間					
ドラマ×クロスワード応募期間					
売場販促					
PRイベント					

今年も総選挙を実施

日本アクセスは、冷凍食品・アイスクリームの今年の人気No.1を決める総選挙「フローズンアワード2024」の投票受付を10月1日より開始した。また、11月30日まで、11月30日までの投票期間中、各賞品の当選品を3つのキャンペーンとオリジナルドラマも配信も実施。同フローズンアワードの話題喚起を図り、冷凍食品・アイスクリームの魅力PR、小売店の売場活性化や売上拡大につなげる。

フローズンアワードは、低温度帯商品の売上高トップクラスの同社が主催する業界最大規模の総選挙。第12回目となる今回は約200商品がエントリー。各メーカーによる渾身の商品、一押し商品のPR動画や、俳優

味の素AGF 丸新柴本製茶(静岡)と共同で

味の素AGFは、有限会社丸新柴本製茶(静岡)と共同で、同社として初の「日本の紅茶(葉和紅茶)」の試作製造を開始している。

味の素AGFは、有る限の減少などの影響により、茶葉は穏やかな減少傾向、また、茶農家戸数も減少傾向にあるという状況に同社は「日本産茶葉を使い、日本の味覚に合った、付加価値のある製品を開発する」との思いから、丸新柴本製茶とのオリジナル

初回「和紅茶」試作製造

の和紅茶製造に向けた取り組み開始に至った。海外の紅茶ではできない「華やかで香り高く、すっきりしつつもコクのある味わい」の紅茶の量産化を目指し、実際に静岡県の丸新柴本製茶に赴き、茶園の職人とともに茶園を見ながら茶葉の発酵条件を詳細に検討するなど取組みは既にスタートし、1回目の試作製造は5月14日、2回目は6月17日、3回目は7月22日に行われ、茶葉の発酵条件の試作検討を行った。さらに9月25日の4回目の試作製造でも茶期に合わせた茶葉の発酵条件の試作検討を行った。同社は今後とも、茶園の職人とともに、創意工夫を重ねながらオリジナルの和紅茶づくりを進めていく考えにある。

「ココロロボトラーズジャパン「東海工場」1号ラインをリニューアル」

必要な高まる小型PETボトルの製造能力増強を図る。さらに新ラインでは、PETボトル成形前にプリフォームを殺菌し、成形後に再度ボトルを滅菌する「2段階殺菌方式」と、製品液を充填後、起動式にはカリン・ドラガン社長、東海市・花田勝重市長らが出席。カリン・ドラガン社長は「東海市は、環境や社会貢献でも様々な取り組みを行っており、特にPETボトルのリサイクルや災害時の物資提供には大きく感謝している。東海市は今年市制55周年を迎え、東海工場と同年に誕生し歴史を同じくしている。今後とも歩みを進めていきたい」と述べた。

「オタフクHD 佐々木直義氏が社長就任」

オタフクホールディングスの代表取締役社長に、佐々木直義氏(前専務取締役)が10月1日付で就任した。前代表取締役社長の佐々木喜氏は会長に就く(11月23日の定時

「自然のおいしさ!! エジマ ジヤム」

小島食品製造株式会社
本社 東海市名和町一番割中25
電話 <052>603-3511

「お客様は神様でない」

先の米不足による米確保の手段として、農家との定期便契約が一時拡大したが、供給が緩和されるやその契約をキャンセルする消費者が増えているという。心情は分らないでもないがその身勝手さには呆れるばかりだ。ネット上で危機管理コミュニケーション専門家の増隆隆太氏がコメントしている通り、もはや善意を前提とした取引は難しい時代となり、前もってキャンセル料や前払いなどの対策、設定が必要となる。マスコミの煽り報道にも責任があり、一部で言われていた政府備蓄米を放出していたらさうに混乱する事態となっていたことだろう。

「オタフクHD 佐々木直義氏が社長就任」

オタフクホールディングスの代表取締役社長に、佐々木直義氏(前専務取締役)が10月1日付で就任した。前代表取締役社長の佐々木喜氏は会長に就く(11月23日の定時

「オタフクHD 佐々木直義氏が社長就任」

オタフクホールディングスの代表取締役社長に、佐々木直義氏(前専務取締役)が10月1日付で就任した。前代表取締役社長の佐々木喜氏は会長に就く(11月23日の定時

「オタフクHD 佐々木直義氏が社長就任」

オタフクホールディングスの代表取締役社長に、佐々木直義氏(前専務取締役)が10月1日付で就任した。前代表取締役社長の佐々木喜氏は会長に就く(11月23日の定時

「オタフクHD 佐々木直義氏が社長就任」

オタフクホールディングスの代表取締役社長に、佐々木直義氏(前専務取締役)が10月1日付で就任した。前代表取締役社長の佐々木喜氏は会長に就く(11月23日の定時

鍋も生だれ

「生」と「鮮度」にこだわり、原料本来の生の旨み、香り、コクを味わっていただくため、原料を加熱せず非加熱で製造しています。「ジャンチゲの生だれ」は熟成コチュジャンをベースに、にんにく、桃、生だれの旨みを効かせ、濃厚でコク深い辛さに仕上げたチゲの生だれです。濃縮タイプなので、味の濃さ、量を自由に調整できます。ぜひ風味豊かな「ジャンチゲの生だれ」をお楽しみください。

濃厚旨辛 New 45th Anniversary

ジャンチゲの生だれ 230g
ジャン焼肉の生だれ 240g

全国で話題の FOOD STYLE がついに中部初上陸!

各日先着2,000名様に! 500円分のQUOカードプレゼント!

来場事前登録受付中 FOOD STYLE Chubu

外食・中食・小売業界の垣根を超えた商談展示会

FOOD STYLE

中部の食を全国へもつと! 全国の食を東海にもつと!

Chubu 2024

同時開催展 発酵食品ワールド/外食経営 DX EXPO 特別企画 食団連カンファレンス in 愛知

北海道から沖縄までの食品・飲料・設備・機器・システム・サービスが一堂に集結 食に携わる皆さまのご来場を心よりお待ちしております!

会期 2024年 10月23日水 24日木 10:00~17:00(最終日は16:00まで)

会場 Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場) 中部国際空港(セントレア)

問合せ先 FOOD STYLE Chubu 実行委員会 〒107-0062 東京都港区南青山3-1-31 KD南青山ビル2F (株式会社イベント内)
TEL 03-6812-9423 FAX 03-5413-8830 E-mail c-foodstyle@innovent.co.jp 平日 10:00~17:30